

<実習指導を担当する教員としての姿勢>

附属幼稚園では、次のような姿勢で、実習指導に携わっていきたいと考えています。

なお、本園の実習指導の方法等については、「保育実践資料集 幼稚園教育実習の指導編」（2011）に詳しくまとめています。

ご希望の方は、本園までご連絡ください。

①養成期間全体の中での「実習」の意味を意識する

教育実習は、教育学部学生にとって、4年間の教員養成課程における学びの中核に位置します。

それはまた、教師・保育者としてのキャリアにおける実践的な学びの起点でもあります。

また、自身が受けてきた保育・教育にはじまる自己形成史のターニングポイントとして、重要な意味をもっています。

どのような教育実習体験をもつか、そして、そこでどのような指導を受けるかが、保育者としてのその後の長いキャリアのあり方を左右するものとなります。

学生は、主として下記の三つの面から学びます。

○子どもから学ぶ ○保育者と子どものかかわりから学ぶ ○保育者から受ける指導によって学ぶ

そのいずれもが、園ならびに指導を担当する教員の責任とデザインに拠っていることを、指導する側は十分に心することが必要です。

もちろん、担当教員の補助的活動や「周辺参加」の形で学ぶこともあります。

また、担当教員を模範としながら、まねながら学ぶことも多くあるでしょう。それらも含めて、担当教員は全体的に心を砕いてデザインすることが必要です。

自分自身の保育行為を、学生がよくリフレクションできるように、実習を構成し、指導することが大切です。

また、大学での学びとの連携、連絡が重要となります。1年次の「教職入門」、2年次の「基礎実習」、さらに実習後の大学での振り返り、諸授業との連携、連絡の中で、学生が往還的に学ぶことができるように考えましょう。

幼稚園で実習したことが、学生の将来に生きるように考えることが、よき後継者としての保育者を育てることになります。

就職先としては、幼稚園、保育所、その他の保育関連施設であったり、あるいは教育や保育、福祉の場ではないこともあるでしょう。

しかし、実習の中で、子どもから学んだこと、担当教員とのかかわりから学んだことは、必ず大切なこととして生きて働く体験や知恵となることでしょう。

人を育てることは、必ず子どもや親や地域や社会を育てることにつながっていきます。保育者として、学生を心より育てることを大切なこととして参りましょう。

②「幼稚園教育の基本」を活かした実習指導をする

○ 実態把握から始まる指導

幼稚園教育では、幼児の実態を把握し、幼児理解の基に、指導を行うことを基本としています。

常に、まず子どもを原点にして考えるという、保育者がもっている教育観を、学生に対する指導場面でも大切にしたいものです。

「これくらいできてくれないと困る」「どうして今時の学生はできないのか」といった考え方では、人を育てることはできません。

もちろん、学生自身の努力が不足していることもあるかも知れません。

それであっても、幼児に対する指導と同様に、個々の学生の実態をよく捉え、学生について理解していくことから始めることが必要でしょう。

実習指導の担当教員には、学生の学びにおける「モデル」としての役割があります。

幼児に接する態度だけでなく、学生に対してどのように接するかという姿勢も、「モデル」にならなければなりません。

決められた実習課題がある中で、それをいかにして個々の実態に応じて指導していくか、担当教員の力量が試される場でもあることを意識しておきたいと考えます。

○ 「学生の姿」と「指導」の両面からの評価

幼稚園教育の指導に関する評価は、幼児の姿を評価することにとどまらず、そのような姿が生まれた背景にある「教師の指導」の仕方についても合わせて評価しています。

教育実習の評価においても、学生の評価と合わせて、学生を指導した担当教員の指導の仕方を振り返ることが大切です。

学生の指導をする中では、普段あまり意識せずに感覚的に行っていることについて、改めて整理し直しながら、学生に伝えていく場面も数多くあります。

また、保育について学び始めた学生ならではの視点が、現場ではかえって新鮮な視点である場合もあります。

学生に対して「柔軟な発想が必要である」と言いながら、実は経験を重ねることで担当教員のほうが柔軟さを失っていることがあるかも知れません。

学生への実習指導は、日常の保育に加わる業務であり、時間的、精神的にも負担が増えることは事実です。

それでも、その時間を通して、自分の教育観・保育観や指導方法を見直すことができるよいチャンスでもあります。

保育にかかわる様々なことを、丁寧に学生に伝えたり一緒に考えたりすることを毎回行っていくことで、保育者としての力量が積み上げられるのではないかと考えます。